

平成27年度函館市事業評価調書

平成27年6月作成

整理番号	補助金3	事業名	函館市交通安全指導員会補助金			事業の性質別	裁量的経費	区分	補助金のあり方
予算事項名	大事項	補助金	中事項			函館市交通安全指導員会補助金		部課名	市民部交通安全課
事業開始年度	昭和 49 年度	根拠法令等	あり	<input type="checkbox"/> 法律・政令・省令名() <input type="checkbox"/> 道条例, 規則, 要綱等() <input checked="" type="checkbox"/> 市条例, 規則, 要綱等(函館市補助金等交付規則)			電話番号	21-3190	

1. 事業の目的・必要性と内容 (PLAN) ※この事業を行う目的・必要性は何か。どのような取組を行っているのか。

目的・必要性	【目的】 函館市交通安全指導員会は、市民の交通安全確保に寄与することを目的にボランティアとして活動している団体であり、同会の活動を支援することにより、当市の交通安全運動を促進するため補助金を交付している。
	【必要性】 函館市交通安全指導員会は、地域での交通安全指導、各種啓発活動のほか、市や警察などと一体となって各種啓発活動等に取り組むなど、市内における交通事故防止および交通安全意識の高揚を図るための事業を実践している団体として、安全で安心な街づくりの推進に大きな役割を果たしており、同会の活動を支援する必要がある。
内容	函館市交通安全指導員会が行う活動に必要な経費の一助とするため補助金を交付している。 ○当該団体の主な活動内容 ・各期の交通安全運動「街頭啓発」への参加 ・各期の交通安全運動期間における車両広報活動 ・新入学児童、自転車利用者への街頭指導 ・港まつり、函館ハーフマラソン大会、箱館五稜郭祭等での交通指導 ・学校祭、神社御輿行列、神社初詣、お盆墓参り等での交通指導 ほか

2. 概算総事業費 (DO:コスト) ※事業を行うための費用の状況はどうか。コストがどれくらいかかっているのか。

(単位:人,千円)

		平成24年度決算	平成25年度決算	平成26年度予算	平成26年度決算見込	平成27年度予算	平成28年度予算要求
事業費 (A)		5,700	5,700	5,600	5,600	5,600	0
特定財源	国・道						
	市債						
	その他						
一般財源		5,700	5,700	5,600	5,600	5,600	
事業を実施するために必要な人件費 ※人工は小数点第3位を四捨五入しているため、実際に人工がかかっている場合も0で表示されている場合がある。	職員	人工 0.01 75	人工 0.01 72	人工 0.01 73	人工 0.01 73	人工 0.01 75	人工 0.00 0
	嘱託職員	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0
	臨時職員	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0
	人件費(B)	75	72	73	73	75	0
総事業費計(A+B)		5,775	5,772	5,673	5,673	5,675	0

3. 活動実績 (DO:アウトプット) ※目的を達成するためにどのように取り組み、その実績はどうか。

活動指標名	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
交通安全街頭啓発・広報活動人数	人(延べ)	860	824	990	
イベント等での交通指導活動人数	人(延べ)	847	792	811	

4-1. 成果等 (DO:アウトカム)

※事業の成果指標は何か。

成果指標	① 交通事故発生件数, 同死傷者数
	② イベント等での安全な運営に伴う交通事故等の発生件数

4-2. 成果等 (DO:アウトカム) ※事業を実施し、どのような成果が得られたのか。

事業の成果等	①交通安全街頭啓発や広報活動等の実施が一助となり、市内における交通事故発生件数, 同死傷者数は年々減少傾向になっている。 ②交通安全指導員が交通指導活動を行ったイベント等での交通事故等は無く、安全が確保された。
--------	--

5. 事務事業の点検 (CHECK)

評価項目	評価内容	評価内容の説明	評価項目	評価内容	評価内容の説明
必要性	事業の市民ニーズ	変わらない	コスト・負担	コストの節減度	節減できている
	市の関与の妥当性	社会情勢等から関与が妥当		将来コスト増減見込み	現在より低減する可能性
成果・有効性	成果の達成状況	達成している	執行方法	受益者負担の適正度	適正
	事業目的実現のための手段	現手段が最適		外部委託の可能性	評価対象外
評価結果から明らかになった課題事項など		市民の安全確保のため、今後も支援をしていく必要があるが、経費節減による将来コストの低減が求められる。			

6. 今後の改善策 (ACTION) ※今後改善する点は何か。どのように進めていくか。

今後の方針 (改善・見直し内容)	基本方針	(事業について) 今後も支援を継続する。
	現行どおり	(経費について) ボランティア団体であることから会費などによる自主財源確保には限界があるため、一定の支援は必要である。今後も経費節減や効果的な事業実施への取組みを促し、補助金の縮減に努める。

参考: 他の自治体の状況

比較参考値 (他の自治体の類似事業の状況など)	道内の各市町村における交通安全指導員は、そのほとんどが市町村長委嘱の地方公務員待遇で、その活動に要する経費は公費で賄われているが、本市においては純粋なボランティアとして活動する交通安全指導員で組織している団体である。
-------------------------	--